

平成12年度収蔵作品(購入11点／受贈23点)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	素材
	【購入】				
1	土谷武	「水-循環するもの」	1994年	245×150×170cm	軟鋼
2	土谷武	「Movement I」	1977年	94.5×90×137.5cm	軟鋼
3	土谷武	「内気と外気B-a」	1993年	24×34.5×25cm	軟鋼
4	高松次郎	「点」	1961年	61.8×42cm	油彩・カンヴァス
5	高松次郎	「点」	1962年	27.5×22.5cm	紐、ラッカー、木
6	鈴木実	「因果な女」	1958年	82.5×60×53.5	石膏
7	郭徳俊	「精遊」	1966年	145×112cm	石膏、胡粉、樹脂、油彩・パネル
8	川嶋清	「Observation30 トロイング1」	1991～2000年	123×93.5cm	鉛筆・紙
9	川嶋清	「Observation30 トロイング2」	1991～2000年	123×74.8cm	鉛筆、インク・紙
10	川嶋清	「Observation25 トロイング」	1991～2000年	123×73.3cm	鉛筆、色鉛筆・紙
11	河合勇作	「Migration-above the clouds」	2000年	150×95×185cm	鉄
	【受贈】				
1	土谷武	「蟬Ⅶ-a」	1982年	12.5×41×20cm	コルテン鋼
2	高松次郎	「日本語の文字」	1970年	72.8×51.5cm	オフセット・紙
3	高松次郎	「英語の単語」	1970年	79×54.5cm	オフセット・紙
4	高松次郎	「遠近法」	1966～67年	35×25.6cm	鉛筆、色鉛筆・紙
5	高松次郎	「遠近法」	1968年	27.1×39.1cm	鉛筆、色鉛筆・紙
6	高松次郎	「波 No.572」	1969年	24.7×47.2cm	透明水彩・紙
7	高松次郎	「消されゆく正方形」	1972年	21×20cm	不透明水彩、ボールペン・紙
8	高松次郎	「消されゆく円形」	1972年	21×20cm	不透明水彩、ボールペン・紙
9	高松次郎	「しわのDrawing」	1973～75年	53.8×38.8cm	鉛筆、色鉛筆・紙
10	高松次郎	「しわのDrawing」	1973～75年	53.8×38.8cm	ペン・紙
11	高松次郎	「線と面」	1983年	38.5×57cm	グアッシュ、鉛筆・紙
12	鈴木実	「妻の肖像」	1958年	76×45×37cm	石膏
13	郭徳俊	「フォードと郭」	1974年	150×104cm	写真・パネル
14	郭徳俊	「カーターと郭」	1977年	150×104cm	写真・パネル
15	郭徳俊	「レーガンと郭」	1981年	150×104cm	写真・パネル
16	郭徳俊	「ブッシュと郭」	1989年	150×104cm	写真・パネル
17	郭徳俊	「クリントンⅡと郭」	1997年	150×104cm	写真・パネル
18	郭徳俊	「フォードと郭」	1975年	42×33.6cm	リトグラフ・紙
19	郭徳俊	「クリントンⅡと郭」	1997年	51.5×37cm	リトグラフ・紙
20	郭徳俊	「自画像 78」	1978年		VHSビデオ(13分)
21	川嶋清	「Observation 30 トロイング3」	1991～2000年	123×80.9cm	鉛筆・紙
22	川嶋清	「Observation 30 トロイング4」	1991～2000年	54.9×47.4cm	鉛筆・紙
23	河合勇作	「Hill House」	2000年	60×65×34cm	鉄

◇土谷武:1926年京都生まれ。今日の彫刻界を代表する作家の一人。90年代に入り注目すべき作品を発表しており、当館でも体系的な作品収蔵が進められている。

◇高松次郎:1936年東京生まれ。60年代以降の美術界に最も大きな影響を与えた作家の一人。戦後の現代美術を収集の柱とする当館としても極めて重要な作家に位置付けされている。1998年没。

◇鈴木実:1930年山形県生まれ。平櫛田中賞、中畑悌二郎賞を受賞した木彫作家で、その特異な作品は高く評価されている。平成11年度に当館において二人展開催。2002年没。

◇郭徳俊:1937年京都生まれ。写真や版画、パフォーマンス等の多彩な活動で知られる。2000年の光州ビエンナーレ出品に続き、今年度韓国の国立美術館において個展開催。

◇川嶋清:1951年会津若松市生まれ。80年代以降の彫刻界において、常に彫刻の本質を問いかける重要な作品を発表している。1993年に当館において個展開催。

◇河合勇作:1964年神奈川県生まれ。「migration-above the cloud」は、第29回現代日本美術展において大賞及びいわき市立美術館賞を受賞している。